

日本—元気な愛知 **をつくり**

日本の未来をつくる!

人が輝く愛知

産業首都

ジブリパーク

東京—極集中を
STOP!

新型コロナウイルス 感染症を克服!!

県民の生命と健康を守ることを最優先に、社会経済活動との
両立を図る新型コロナウイルス感染症対策を推進

- 新型コロナウイルスの感染状況に応じた医療提供・検査体制の確保。
- ワクチン接種体制の整備。
- 将来の新興感染症感染拡大に備えた体制確保。
- 政府の経済対策に呼応、新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受ける県民生活、事業活動への支援。

政策の柱

- ☐ 「ジブリパークのある愛知」の魅力発信！
- ☐ 「リニア大交流圏」の形成
- ☐ 「産業首都あいち」
- ☐ 農林水産業の振興
- ☐ 「すべての人が輝くあいち」
- ☐ 観光あいち・魅力発信
- ☐ 文化・スポーツの振興
- ☐ あいちのグローバル展開
- ☐ 安全・安心なあいち
- ☐ 「環境首都あいち」
- ☐ 地方分権・行財政改革
- ☐ 東三河の振興

「ジブリパークのある愛知」 の魅力発信！

- ☆2005愛知万博の理念「自然の叡智」～人、いきもの、地球に対する愛を継承し、ジブリ作品の世界観を表現した唯一無二の公園施設として、国内外に魅力を発信。
- ☆国内外で愛されてきたスタジオジブリ作品を、将来にわたって伝え残していく。
- ☆2023年度2期オープン（もののけの里、魔女の谷）、愛・地球博記念公園の更なる魅力向上。開業効果波及。
- ☆万博の理念と成果を未来に継承する20周年記念事業の実施。

「リニア大交流圏」の形成

～首都圏・中京圏で5千万人のメガ・リージョンを！

□社会基盤の整備

- 空港・港湾・鉄道・道路のネットワーク強化。
- 高速道路網等の整備促進。新東名高速道路の6車線化、三遠南信自動車道、名古屋環状2号線、名豊道路、西知多道路、名岐道路、浜松湖西豊橋道路、一宮西港道路、名古屋三河道路、名浜道路等。
- 有料道路コンセッションを通じた利便性向上、地域の活性化。
- 名古屋港、三河港、衣浦港の国際競争力強化。
- 市町村の空き家・空き店舗対策の支援。

□交通・航空対策の推進

- リニア中央新幹線の整備促進と名古屋駅のスーパーターミナル化。40分交通圏の拡大、名古屋駅と豊田市駅間の速達化、中部国際空港アクセスの向上。
- 中部国際空港の戦略的整備～第二滑走路、航空ネットワークの充実。

□住みやすさ日本一あいちの発信

「産業首都あいち」

～国際イノベーション都市へ

- 国際展示場「Aichi Sky Expo」の活用、国際的なMICE誘致、新たな産業展示会の創出。欧州最大級の「グローバルインダストリー」日本版支援（2024年）。
- スタートアップ・エコシステムの形成： 国内最大の支援拠点「STATION Ai」整備（2024年10月オープン）、「PRE-STATION Ai」による切れ目のない支援、スタートアップの創出・育成、オープン・イノベーション促進（A-idea）、海外エコシステムとの連携、ファンド等による資金調達支援。産業偉人展示施設。農業イノベーション・スポーツイノベーション推進。
- 「あいち自動車産業アクションプラン」（2021-25年）による世界一の集積・自動車産業のイノベーション、CASE・MaaSへの対応。次世代自動車に必要な拠点整備。自動運転、FCV始め次世代自動車の世界一の拠点化（開発・生産・普及）。
- 国産ジェット旅客機・ロケット等、アジアNo.1航空宇宙産業の集積強化。三大拠点化。

- 産業用・サービスロボットの社会実装の促進。高校生ロボットシステム
インテグレーション競技会の開催など、ワールドロボットサミット2020、
ロボカップアジアパシフィック2021あいちの大会レガシーの継承。
- ICT活用（中部国際空港島周辺地域のスーパーシティ化）。
デジタル・コンテンツ産業の強化。
- 健康長寿（あいちデジタルヘルスプロジェクト）、環境、エネルギー、中小
企業の活性化。商店街の活性化（集客力・販売力向上、コミュニティ機能強化、
大型店の地域貢献活動等）。「産業空洞化対策減税基金」による企業立地・
研究開発等への支援。金融・政策減税の強化。

農林水産業の振興

～中部最大の農業県・愛知の力をパワーアップ

- 水田の大区画化や水利施設老朽化対策、農道・林道、干潟・浅場、魚礁漁場、漁港など生産基盤の整備推進。
- 「あいち型産地パワーアップ事業」等を活用した産地における生産力の強化。
- スマート農業・林業の推進。
- 新種鶏場（2023年）を核とした名古屋コーチンの生産体制強化など、地域ぐるみの高収益型農業の実現。
- 農福連携や半農半X・マルチワークなどによる多様な人材の確保。
- 「花の王国あいち」の推進、フラワーバレンタインなど消費拡大策の展開。
- ブランド力強化、SDGsに貢献する地産地消の推進、新たな流通体制の構築。
- 「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業推進、あいち認証材の利用促進。
- 第70回「全国植樹祭」の5周年記念事業（2024年）とレガシー継承。
- 水産資源の維持増大、あさり・うなぎ・のりの資源回復への取組強化。

「すべての人が輝くあいち」

～子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、
全ての人活躍

□教育立県あいち、人財創造あいち

- 愛知らしい併設型中高一貫校の設置。
- 少人数学級・少人数指導等による確かな学力の育成。
ICT教育の充実、授業改善によるアクティブ・ラーニングの推進。
- 魅力ある高等学校づくり。文理融合、スーパーサイエンスハイスクール、リベラルアーツ、STEAM教育、AI・データサイエンス教育、国際バカロレア、課題解決型学習等、探究的な学びを推進。次世代グローバル人材育成。
- 全日制単位制高等学校の設置、定時制・通信制高校のリニューアル、夜間中学の設置。
- 外部人材の活用による複雑化・多様化する教育課題対応（いじめ・不登校問題等への対応・根絶等）。県立学校の教育環境改善（トイレ・空調・ICT等）。
- 教員の確保。教員の働き方改革の推進。部活動の地域移行の推進・検討。

□女性の活躍促進

- 働く場における女性の定着と活躍の場の拡大。
- 「あいち女性輝きカンパニー」の認証などを通じた、女性の活躍に向けた企業等の意識改革の促進や取組への支援。女性の起業支援等を通じた産業振興・雇用促進。再就職の支援。
- 多様な保育環境の充実。男性の育児参加の促進。

□子ども・子育て支援

- 「日本一子育てしやすいあいち」の実現をめざした、総合的支援施策の推進。
- ヤングケアラー支援の充実。
- 子どもが輝く未来基金による子どもの貧困対策の推進。
- 保育所の整備・拡充、認定こども園の設置促進、待機児童解消。放課後児童クラブ（学童保育）の整備促進。長期休み期間中の児童の居場所の確保。
- あいち小児保健医療総合センターを中核とした小児救急医療体制の充実。
- 児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応、児童相談センターの体制強化による児童虐待事案への適切な対応。社会的養護経験者（ケアリーバー）の自立支援。

□医療

- ・救急医療体制の強化。医師・看護師の確保。地域医療の充実強化。
- ・新ドクターヘリ配備による2機運航体制（3次救急医療・災害医療強化）。
- ・重症外傷センター指定制度の本格実施による救急医療体制強化。
- ・愛知県がんセンターを中心としたがん診療連携体制の充実。強化の検討。
- ・小児・AYA世代・若年がん患者の支援。
- ・歯科口腔保健対策の充実、8020運動の推進。
- ・愛知県精神医療センターにおける精神科救急や先進的な専門医療への対応など精神科医療体制の充実。

□健康長寿

- ・AI・ICTを活用した高齢者の支援、福祉提供体制強化。
- ・愛知県認知症施策推進条例に基づく総合的かつ計画的な認知症施策の推進、「あいちオレンジタウン構想」の全県展開・「認知症に理解の深いまちづくり」推進、認知症医療提供体制の強化、国立長寿医療研究センターとの連携。
- ・地域包括ケア推進に向けた情報発信や地域活動の充実。
- ・介護を含めた多様な職種の連携による在宅医療体制の充実。
- ・地域の実情に応じた在宅・施設サービスの基盤整備や住まいの確保。

□健康長寿（続き）

- 介護予防、高齢者虐待防止に関する人材育成、技術支援等。
- 健康寿命の延伸を目指した県民の主体的な健康づくりを促進する取組の推進。
- 元気なシニア層の就労、地域活動などへの社会参加の促進。

□障害者福祉・支援、ノーマライゼーション推進

- 特別支援教育の充実。新たな特別支援学校や分教室の設置、看護師の拡充、スクールバスの整備、外部専門人材の活用等。
- 「障害者福祉減税基金」を活用した民間の重症心身障害児者の施設整備支援。
- インクルーシブ教育システムの推進に向けた多様な学びの場の一層の充実。
- 愛知県医療療育総合センター、医療的ケア児支援センターによる障害児者の医療・療育体制の充実。
- 障害者雇用の促進（一連の支援を切れ目なく提供）。
- 障害者芸術文化活動の一層の充実。

□産業人材・雇用

- 産業人材の育成。「技能五輪国際大会」の招致。「技能五輪・アビリンピック」の連続開催（Aichi Sky Expo）。
- 産学行政の連携によるデジタル人材の育成・確保。
- 産業振興の強化による雇用の創出と安定の推進、及び正規雇用の拡大と非正規労働者の処遇改善の促進。
- 働き方改革、ワーク・ライフ・バランスの推進。ICTを活用した時間や場所を有効に活用する柔軟な働き方、テレワークの導入・定着の推進。
- 地域経済における人材確保支援（若者・女性・高齢者・就職氷河期世代の活躍促進）。
- 外国人労働者等への総合的な支援。

□人権施策の推進

- 愛知県人権尊重の社会づくり条例（2022年3月制定、4月施行）の推進を始め、人格と個性を尊重しあいながら支え合い、多様性を認め合う、だれ一人取り残されることのない社会づくりの推進。

観光あいち・魅力発信

□観光都市あいち

- 新たな「あいち観光戦略」策定。
- 2025年新体育館（愛知国際アリーナ）開館、2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会、2027年度リニア中央新幹線開業等をターゲットとした誘客やイベント等（2025年ツーリズムEXPOジャパンなど）の誘致・開催。
- 産業観光、歴史観光の推進。山車日本一、昇龍道。
- 観光地エリア全体の高付加価値化。外国人旅行者が安心して滞在できる受入れ環境の整備（言語・宗教への対応など）。

□あいちの魅力発信

- 「なごやめし」の戦略的PR。名古屋コーチン、抹茶、小麦「きぬあかり」などあいちの農林水産物のブランド力強化と需要拡大。
- 大高緑地始め県営公園へのPARK-PFIなどの民間活力の活用による魅力向上。

文化・スポーツの振興

□文化・芸術都市あいち

- 国際芸術祭の開催と発信力の強化。
- 愛知芸術文化センターの芸術創造・発信機能の一層の強化と愛知県陶磁美術館の活性化。
- 県立芸術大学の一層の活性化。
- 朝日遺跡の魅力の発信。

□スポーツ王国あいち

- 新体育館（愛知国際アリーナ）の整備（2025年夏）～アジア最大級のスマートアリーナを活用した国際的なスポーツ、エンタメ、イベントの招致～。
- 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催（2026年）。地元アスリート育成。
- マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知、WRC世界ラリー選手権等、世界的なスポーツ大会の開催。
- 障害者スポーツの推進。

あいちのグローバル展開

- 「あいち国際ビジネス支援センター」「海外産業情報センター」(上海、バンコク)、及び「サポートデスク」(蘇州、ハノイ、ニューデリー、ジャカルタ)を活用した、県内企業の海外展開支援。
- 友好・協力関係にある国・地域・機関との交流の推進（アメリカ、中国・アジア、フランス・ドイツ・ベルギー・イスラエル等）、特に関係を深めることが望まれる国・地域・機関を対象とした新たなパートナーシップの構築。
- グローバル人材の育成・獲得。
- 外国人県民が安心して暮らせる環境整備（日本語、医療通訳、災害時多言語支援等）。
- ウクライナ避難民への生活支援。
- 多文化共生の担い手育成。
- 外国人の子ども教育の充実（小中学校における日本語教育適応学級担当教員の配置、日本語教室の運営費等の助成、外国人児童生徒の就学支援活動の支援等）。

安全・安心なあいち

□防災

- 災害時の市町村への支援体制強化、市町村域を越える広域的支援体制の強化。
- 基幹的広域防災拠点の整備（2025年度）。ゼロメートル地帯における広域的な防災拠点の整備促進。
- ペット同行避難の環境づくりの推進（ペット同伴者が安心して避難できる専用施設の事業化可能性検討）。
- 次世代高度情報通信ネットワークの構築を通じた防災ネットワークの強靱化・効率化・大容量化。
- 地域防災力の強化。耐震化・豪雨・高潮対策の推進。
- 県と名古屋市の共同による消防学校の設置（基幹的広域防災拠点に開校）。

□交通安全

- 歩道等の整備や通学路の安全対策など、安全な道路交通環境の整備。
- 高齢者等に対する交通安全教育などの充実。

□防犯対策

- 警察署の建替え等による警察力の強化。交番の建替えの計画的な推進。
- 子ども・女性・高齢者等の防犯対策の充実。地域防犯力の更なる向上。
- 性犯罪・性暴力被害者支援の充実。
- 再犯防止、社会復帰支援や職場定着支援などの推進。

□消費者の安心

- 「愛知県消費生活総合センター」を拠点とした市町村との連携による地域全体での相談体制の強化。
- 悪徳商法や多重債務等への対策強化。
- 安全・安心な食の確保、「食育」の推進、第17回食育推進全国大会（2022年）のレガシー継承。
- 危機管理の視点に立った家畜防疫体制の強化。

「環境首都あいち」

□地球温暖化対策の推進

- 再生可能エネルギー(太陽光・風力・小水力・バイオマス等)の促進。
- あいちカーボンニュートラル戦略会議による民間アイデアの募集選定、優れたアイデアを具体化・実践(矢作川カーボンニュートラルプロジェクト、「街区全体で統一的に木造・木質化を図るまちづくり」プロジェクト)。
- EV・PHV・FCVの導入促進など運輸部門における温室効果ガスの排出削減。
- 住宅の省エネ性能向上、住宅用地球温暖化対策設備の導入促進、ZEH(ゼロエネルギーハウス)普及促進など家庭における温室効果ガスの排出削減。
- 事業者の再エネ・省エネ設備の導入促進、建築物ZEB化促進など産業・業務部門における温室効果ガスの排出削減。
- カーボンニュートラルポート形成、三河湾の「ブルーカーボン」の取組み、県営名古屋空港の脱炭素化、森林による温室効果ガス吸収拡大に向けたJ-クレジット制度促進、森林・農地・漁場の二酸化炭素吸収・固定機能の発揮。
- 県の行政活動を通じたカーボンニュートラルの推進(ESG債(グリーンボンド等)、県有施設への太陽光発電導入・県産木材利用推進、公用車ゼロエミッション化推進等)

□循環型社会形成の推進、生物多様性の保全、環境首都あいちの基盤づくり

- 循環型社会の形成に向けた更なる取組の推進（3Rの高度化、サーキュラーエコノミー型ビジネスの活性化）。
- マイクロプラスチック、食品ロス対策。
- ポスト「愛知目標」に向けた生物多様性保全の取組強化と「あいち方式2030」の普及。
- 指定管理鳥獣対策の強化。
- 三河湾の環境再生に向けた取組の充実。
- 長良川河口堰の開門調査等。
- 2030年を目標とするSDG s の達成に向けた取組の加速。
- 持続可能な開発のための教育（ESD）の取組促進。
- 大気環境の常時監視及び的確な情報提供。

地方分権・行財政改革

- 自立した持続可能な中京大都市圏の実現と分権型社会の構築。全国知事会、中部圏知事会、名古屋市との連携・機能強化。
- 国から県への権限・財源の譲渡。県から市町村への権限移譲。
- 特区・規制改革について愛知らしさを生かした国への提案強化と実現。
- 「あいち行革プラン2020」（2020～24年）推進、次期行革大綱（2025～29年）策定（DXの推進、人口問題対策、更なる民間活力の活用等を軸に）。
- 地方税財政制度の充実強化による安定的な財政基盤の確立。財政健全化推進。
- 県民目線による外部評価など第三者の意見等を踏まえた、真に必要な施策・事業の効果的・効率的な実施の促進、財政の見える化の推進。
- 社会資本の計画的・効率的な維持管理・更新(長寿命化、新技術・素材等活用)。
- 公共施設・社会インフラへの民間活力の導入（STATION Ai、新体育館、基幹的広域防災拠点、県営住宅の建替え等）。多様な主体との連携・協働推進。
- 公契約条例の適切な運用による社会的価値の実現。

東三河の振興

～東三河県庁の強化、産業の育成・強化、魅力の創造・発信、
産業・生活を支える基盤づくり、安全・安心な暮らし

- 東三河県庁を軸とした連携の強化と「東三河振興ビジョン2030」の推進。
- 三遠南信連携の推進。
- STATION Ai パートナー拠点「東三河スタートアップ推進協議会」を中心とした産業イノベーションの創出、次世代産業の育成・振興。
- 企業立地推進。産学行政の連携強化。農林水産業の振興。
- 広域観光エリアとしての魅力向上・発信、スポーツの振興。
- 関係人口の創出、移住・定住の促進。
- 自然の保全・再生と自然との共生を担う人材育成。
- 再生可能エネルギーの活用。
- 広域交通基盤の整備。三河港の機能強化、港湾計画の改訂への取組。
- 特色ある学校づくり(豊橋工科、時習館、御津あおば、三谷水産、渥美農業)。
- 地震・津波防災対策・治水対策の推進。山間地域の防災対策の推進。